

なないろ通信

No. 3

まちの縁側フォーラム 編

育くみ隊活動は公共施設づくりのコーディネートから人と人とのご縁結びのコーディネートまで、まるで虹のように、いくつもの色がまざりあう多様な活動です。それに関わるスタッフもまた、年齢、職業、特技、性格などなど様々。この「なないろ通信」ではそんな育くみ隊に関わる人たちがそれぞれの視点で、育くみ隊活動を紹介したり、最近身の周りで起こった「エンガワ」な出来事、普段考へておかしなことなどを紹介します。

昨年1月、自宅の一部を開放してこどもからお年よりまですべての人々に開かれた自由な空間をつくりたい、縁側のようなとおこにしたいと思い立ち、出会ったのが延藤先生の「縁側の要件」の記述でした。同時期、名古屋のクニハウスを見学し、浜田（島根県）での縁側づくりをなんとか実現したいという思いが強まりました。そんな中、NPO法人まちの縁側育くみ隊が設立されることを知り、先生にその思いをお手紙をお伝えしたところ、先生とスタッフが遠く浜田までお出でくださり、現在私たちのプロジェクトをサポートしてくださっています。本当にありがとうございます。そして現在進行中の浜田の縁側づくりにとって、「まちの縁側フォーラム」はまさにうってつけの企画であり、山陰からワクワクしながら参加しました。

3月7日は名古屋에서는小雪もちらつく寒い一日でしたが、旧豊田佐助邸で行われたフォーラムは、育くみ隊スタッフの皆さんからの桜湯とこんぺいとうにもてなしの心がこめられ、和やかで、あたたかい雰囲気のなか始まりました。延藤先生による幻燈会では各地の縁側風景を見せていただきました。その活動の多様さに面白さを感じ、また共通性は深く印象に残りました。その後、北は北海道、南は福岡と各地の縁側の紹介を学生さんも含む7名の方がしてくださいました。どの方も背後には並ならぬご苦労もあったに違いありませんが、躍動感あふれる発表に、聞いているものも元気と勇気をいただきました。毎月縁側サミットを開いておられる鈴鹿の南部さんは、7名の発表者にエールをこめて即興で和紙に短いことばと絵を描かれプレゼントされました。（私にも描いてください、何よりのおみやげでした。）書かれたことばは勿論その表現全体に、延藤先生の言われる縁側の共通項でもある、一人一人の個性を大切にする心や手づくり感覚、もてなしの心、ユーモア等がつまっていました。南部さんは“歩く縁側”だなーと感動しながら、浜田での縁側づくりも、自分も含め、縁側の心をもつ人育て、人づくりでもあると思いました。

皆さんの発表からもたくさんのこと学び、限られた紙面には書き尽くせませんが、三八屋の星野さんの「個々のネットワークがつむがれシナジー効果」「地域のアイデンティティーを呼び覚ます」という言葉は高齢化の進む浜田での取り組みにも大きな大切なキーワードになると思いました。また、弘前大学の北原先生が語られた幼いころの縁側の思い出を伺いながら、未来を築いていく子どもたちが「縁側っていいもんだなあ」とたくさんの思い出をつくってもらえるように、まちの縁側を育みたいと思いました。

フォーラム引き続き、場所を井元邸（旧樅木館）に移し、キッチン石川さん、MOMOのスタッフによるおいしいお食事をいただきながら、思い思いに縁側交流を深め、縁側の暖かさ、楽しさ、豊かさ、おいしさを味わったすてきな一日は終わりました。ありがとうございました。
栗栖真理／会員



3月20、21日のコラボレーション広場は、写真のように陽だまりの縁側コーナーと小枝遊びコーナーを同時に設け、また、「まちの縁側」ソングを合唱し、多くの人に私たちの伝えいやわらかい縁側のイメージを伝えることができました。来場者だけでなく、他のNPOや市民団体・行政の方にも来ていただき、コラボレーション=協働の輪が少し広がったように思います。

縁側コーナーに座り、お茶を飲んでいると、なんかホッとして優しくなる気がしました。縁側のよさをスタッフ一同実感できた2日間でした。「まちの縁側」に足を運んでいただいた方、御協力いただいた方、本当にありがとうございました。
中島智明／理事

□■□ 5月の育くみ隊の主な活動情報□■□

1. 東京市「市民活動大集合！2」参加

日時：5月2日(日) 10:00～17:00
場所：一宮市宮前三八市広場

※詳しくは担当・渡辺 090-3301-6014まで。

杜の宮市『市民活動大集合！2』に育み隊も参加します

一宮市で開かれるお祭り、杜の宮市に参加する事が決定しました。市民活動・ボランティアの交流の場である『市民活動大集合！2』で育み隊の活動を紹介します。育み隊の他にも色々な団体・個人の皆さんのパネル展示やまち探検、ネチャーカラットが見られます。ちょっと遊びに来てください。

* 日 時：2004年5月2日(日) 10時から17時
* 場 所：一宮市宮前三八市広場



指定管理者制度勉強会 自分たちのまちは、自分たちで運営する — 指定管理者制度が拓く未来 —

実際に公共施設をNPO・市民が運営するためには、どんな考え方や技術、方法が必要でしょうか？名古屋市東区においても市が整備する「旧川上貞奴邸」にも「指定管理者制度」の適応が予定されています。その管理実態や施設運営のノウハウに関して学習・意見の場が開催されます。関心のある方はどなたでも参加できますので、是非ご来場ください！

* 日 時：2004年4月10日(土) 14時から16時半
* 場 所：井元邸（旧樅木館）
* 講 師：富永一夫氏 (NPO・FUSION 長池 理事長)
* 参加費：1,000円

参加申込みはMOMOまで

MOMOからのお知らせ

4月1日(木)からMOMOのオープン時間が変わります。
月～金 13:00～17:00 となります
お越しの際はお間違いないようご注意ください。

★但し、イベント開催中は、土・日オーブン・月曜日休みとなります。

取材情報・投稿・編集スタッフ募集！！

こんないい場所、おもしろいネタあります。行ってきました。など取り上げてほしい情報・話題をどんどんお寄せください。また、一緒に編集やってみたいという方もご連絡ください。お待ちしています。

【指定管理者制度】

多様化する住民ニーズにより効果、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図ることとともに、経費の削減等を図ることを目的とする。この制度は「公の施設」全てに適応が検討されます。

【編集後記】

3月の育くみ隊はフォーラム、コラボ広場、各プロジェクトの報告書づくりなど、嵐のような1ヶ月でした。その勢いのまま、というかその嵐の真っ只中での編集作業です。妙にハイテンションな育くみ隊活動が続いている。「市民活動ってノリと勢いが大切だ！」と強く思う今日この頃です。

渡辺丈紀／理事

『エンガワ4月号<No. 3>』平成16年4月1日発行

NPO法人

まちの縁側育くみ隊

代表理事 延藤安弘

編集 渡辺・藤原・鈴木

名古屋市東区官町1-5 まちの縁側MOMO内

Tel/Fax: 052-936-1717

E-mail: info@engawa.ws

